

# ごみを減らそう！ ちりつも作戦！

～減らしてみよう、1人1日30グラム～

重く多いごみから…



毎日の生活で必ず出るごみ。暮らしの中の「捨てるもの」を見直して、少しずつ少なくしてみませんか。「ちりも積もれば山となる」一人一人の小さな行動を積み重ね、大きな成果を生み出しましょう！

軽く少ないごみへ！



ナビゲーター  
環境課職員 永井優一

環境課 ☎(45)6223



## point 1 市内で出るごみは 増え続けている！！

一人当たり、年間約172\*<sub>g</sub>の燃やせるごみが出ています！  
このままだと、クリーンセンターや最終処理場が  
悲鳴を上げてしまいます。

このままごみが増え続けると、クリーンセンターで処理できる量を超えてしまい、他の自治体などに処理の依頼をしなければならず、新たな費用が発生してしまふことが考えられます。  
また、ごみ焼却後に出る灰を埋め立てている現在の最終処分場も、埋め立てで  
きる量には限界があるため、ごみが増えるほど早い段階で使用できなくなってしまう。まう事態も考えられます。

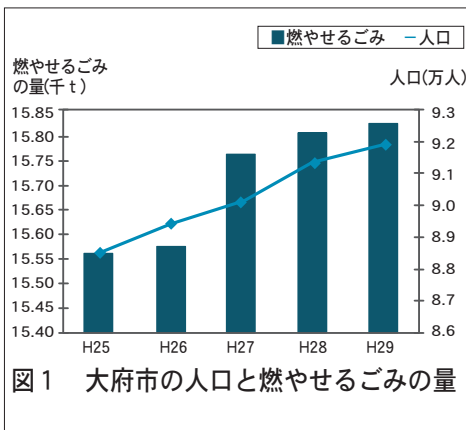


図1 大府市の人口と燃やせるごみの量

人口とともに増加するごみ  
左の図は、過去5年間の燃やせるごみの排出量と人口の推移を表しています。燃やせるごみ(棒グラフ)に注目すると、人口に比例して年々増加していることが分かります。

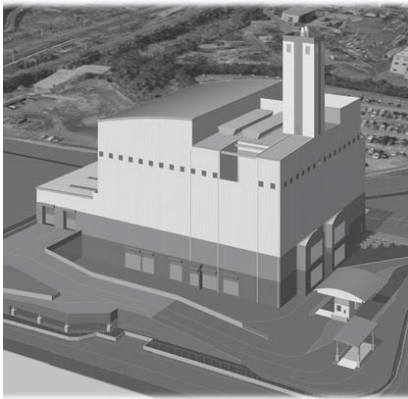
## ごみを減らそう！ ちりつも作戦！



### point 2

年間約7億円が、  
ごみ処理に掛かっている！！！！

税金で賄う割合が大きくなり、有料化を検討する自治体も。処理費用は1人当たり約7600円。4人家族だと約3万円の負担になっています。



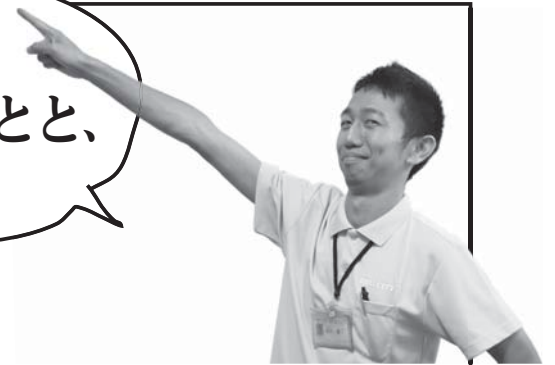
新 東部知多クリーンセンター(イメージ図)

**ごみ処理には多くの経費が必要**  
平成29年度の1年間で出た家庭ごみ(資源を除く)の量は1万7547ト。その処理費用はなんと、約6億9500万円。これを市民1人当たり換算すると、1年間に約7600円を負担している計算になります。  
ごみ処理に必要な経費が増えてしまうと、社会保障や教育、子育て支援などの市が力を入れて取り組む事業に充てる費用を減らさなければならぬことも考えられるため、ごみの減量は喫緊の課題です。  
市では、燃やせないごみなどを含め、1人1日約523gのごみが出ています。国の目標値は1人1日500g——あと少しの努力でクリアすることができるのです！一人一人が少しずつその意識を持つことができれば、総量を大きく減らすことができます。

### point 3

ごみ減量の鍵は、生ごみを減らすことと、  
資源リサイクル！！！！

減らしてみよう、あと30g！  
30gといえば、プチトマト3個分の重さ。  
・・・なんだか、やれそうな気がしてきませんか？



出された「ごみ」の内訳を見てみると...

市では毎年、家庭からどのようなごみが出ているかを調査する「ごみ組成調査」を実施しています。

左のグラフで燃やせるごみの内訳を見ると、「生ごみ」が最も高い割合を占めています。これは、調理時に発生する野菜の切れ端や食べ残し、期限切れで廃棄した食品ロスなどです。平成29年度に市内

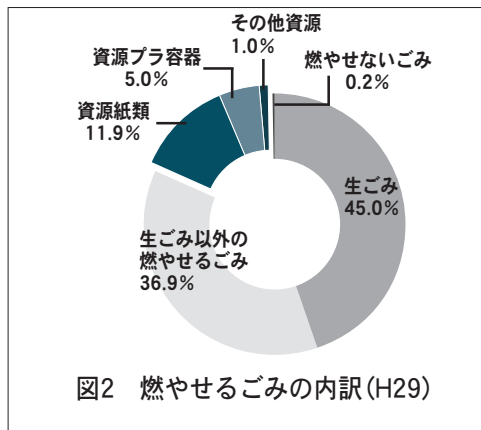


図2 燃やせるごみの内訳(H29)

の家庭から出た1日当たりの生ごみの総量は、約20トにも達しました。また、「資源」が約2割含まれていました。空き箱や紙袋は「その他の紙類」、食品トレーは「プラスチック製容器包装」として資源に出すことができます。  
ごみを減らすには、「生ごみ」を減らし、「資源」を分別することが鍵になってくるのです。

皆さんは、ごみを減らすために、どんな工夫をされているのでしょうか？ 市内で暮らす成田さんのお宅にお邪魔してみます！



## 環境課職員 永井が行く！ ごみ減量お宅訪問

ピンポン

こんにちはー。  
市役所の永井です。

成田家

よろしくお願ひします。日頃の工夫、いろいろ聞かせてください。



紙の分別方法を  
教えてください。



ごみ箱の横に、新聞以外の紙類用の紙袋を置いていきます。先に分けてしまうので、便利ですよ。



資源回収のときに、袋ごとひもで縛ればよいですし、小さめの紙類も落とさずに運べます。



紙袋の中には...「その他の紙類」



食料品や生活用品などの  
空き箱を入れています。

「その他の紙類」の量って意外に多くなりますよね。紙箱以外にも、包装紙やラップの芯なども入れちゃいましょう！



でも、まだまだ分けられる紙が眠っていますよ！

メモ紙や洋服のタグ！

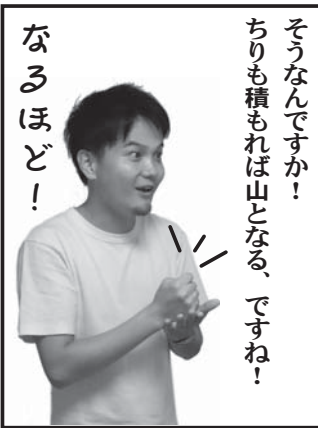
読み終わったハガキなど！

小さくても立派な資源なんです！



そうなんですか！  
ちりも積もれば山となる、ですね！

なるほど！



### 市におけるごみ減量の取り組み

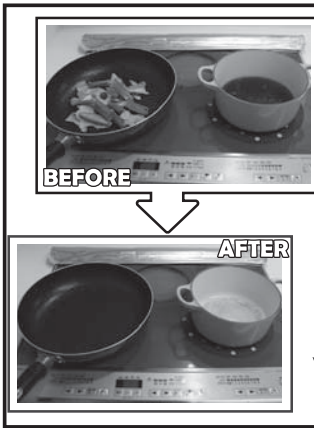
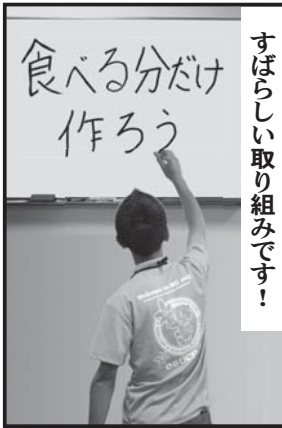
市ではこれ以上ごみが増えないよう、ごみ減量化推進事業としてさまざまな事業を行っています。ここではその事業の一部を紹介します。

#### ● 小学校環境学習出前講座

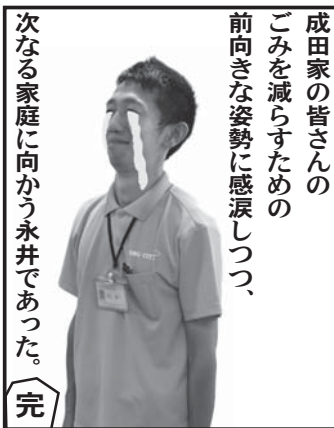
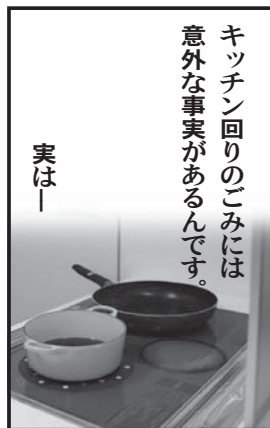
毎年5～6月にかけて、市内の小学4年生を対象に、環境学習出前講座を行っています。どのようなものが資源になるかを説明した上で、子どもたち自身に、家庭から持参したごみを燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源に分別してもらうことで、ごみと分けていたものの多くが資源になることに気付いてもらい、ごみ減量に対する意識の向上を図ります。



# ごみを減らそう！ ちりつも作戦！



作った食事を鍋などに残さず食べ切って、食品ロスをできるだけ出さないようにしています。



このガスを発電機の燃料にして電気を作る民間施設があり、市内小中学校で出た給食の残りや、飲食店が出た食品廃棄物をこの施設に搬入し、電気を作る材料として再利用しています。

## ● バイオガス発電

バイオガスとは、食品廃棄物や動物のふんが微生物の働きによって分解される時に発生するガスのことです。

● 大府市ごみ減量化実施計画  
この計画は、ごみの減量化を実現するために取り組むべき施策を取りまとめたものです。ごみの減量を進めるために、どのように資源回収の推進や食品ロスの削減を行っていくか、市が今後取り組む内容について示しています。詳細は、市ホームページをご覧ください。